

2007年度 日本文化人類学会

第4回 理事会 議事録

日時：2007年12月23日（日）13:00～17:00

会場：東京外国語大学 本郷サテライト 7階会議室

出席者：須藤、上杉、大塚、小田、春日、窪田、栗本、スチュアート、田中、棚橋、富沢、永渕、松岡、森山、山本、吉岡、和崎

議題

〔承認事項〕

1. 前回（2007年度第3回）理事会議事録

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・人類学会世界協議会（WCAA）がアメリカのワシントンで11月28日から12月3日まであり、代表幹事として小泉氏が参加したことを報告。
 - ・社会的還元のための文科省成果公開科研に今年度より申請している。今年は神戸と東京で文化人類学の存在や活動内容についての成果報告を行なった。来年は、広島で芸術をテーマとして行なわれることを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・新入会員（19名）につき、総務会で入会を承認したことを報告。
 - ・評議員において、学会賞受賞選考委員5名の選出をした。関一敏理事を委員長として現在選考中であることを報告。
3. 会計理事報告
 - ・10月30日に日本学術振興会の担当者2名による実地検査を受けた。その後、口頭にて特に問題は見当たらなかったという連絡を受けたことを報告。平成19年度の文科省科研成果公開シンポジウムの実績報告書を提出したこと、平成20年度の日本学術振興会科研費公開促進費の申請書を提出したこと、さらに平成20年度の文科省扱いの公開シンポジウム申請書について、事務局会計を通して提出したことを報告。
4. 広報理事報告
 - ・ワイリーブラックウェルよりJRCAの出版依頼があり、10月22日に会談を行なった。ブラックウェル社は電子媒体においても世界中の文化人類学関係の雑誌を集めることを試みており、その一環としてJRCAに関しても問い合わせがあったが、まだ検討中であることを報告。
5. 各種委員会
 - ・『文化人類学』編集委員会：吉岡理事より特集原稿について締切なども厳守し、その位置づけを高めていくよう求めていくことを報告。
 - ・JRCA編集委員会：JRCA第8号の編集進捗状況について報告があった。
 - ・国際連携委員会：栗本理事よりWCAAの第二回会議が大阪で開催されることを報告。
 - ・地区研究懇談会：松岡理事より北海道民族学会と北海道地区研究懇談会との関係についての経緯、および本学会から支払われる地区研究懇談会経費の使用についての問題が報告された。結果として、会長名の確認書を作成することとした。
 - ・学会賞選考委員会：和崎理事より審議中であることを報告。小田庶務理事より最終報告は次回理事会（2月5日）にて行なえるようにとの要請があった。
 - ・日本文化人類学会と人間文化研究機構国立民族学博物館との連携事業に関する協定（案）について、まずは協定案に対する審議を行なうことを決定した。

〔審議事項〕

1. 倫理綱領について
 - ・松山理事により、倫理綱領案の文案提示があった。その後「倫理」について、および「地球市民」や「ハラスメント」という表現に関するさまざまな議論が続き、継続審議となった。
2. 研究大会発表の査読制度の導入について
 - ・小田理事より、研究大会発表について査読制度導入に関して議論をしたうえで、その導入が望ましいという同意を得た。それについて今期理事会より、次期理事会に対して申し送り事項として通達することを決定した。
3. *JRCA* の Instructions to Contributors の改正について
 - ・スチュアート理事より、前回理事会で継続審議となった改正案について、新たな改正案に基づき、改正案の承認を得た。
4. 学会賞選考規則の改正について
 - ・小田理事より、規則にある過去5年間の業績を付して推薦するという規定について、改正を行なうことが提案された。「過去5年間においてもっとも優れた業績を持つ者」とするのではなく、相対的に優れた者が毎年選出されるような規則となるよう議論が続き、継続審議となった。
5. 部会制度の導入について
 - ・小田理事より、日本文化人類学会部会設立規則案について説明があり、まだ検討すべきことがいろいろあるという意見などが出され、継続審議となった。
6. 日本文化人類学会と人間文化研究機構国立民族学博物館との連携事業に関する協定（案）について、条文をより明確にする必要性が指摘され、継続審議とすることになった。
7. 人類学関連学会協議会の動向について
 - ・森山理事より、加藤会長当時の協議会発足当初に事務局は日本文化人類学会が担当するという取り決めがあり、現在事務を執っている日本生理人類学会側より事務を交替してほしいという要請があったことを報告した。前向きに検討するが、最終的な決定については次期理事会に一任されるという旨を伝えることを決定した。
8. その他
 - ・小田理事より、各委員会担当者は、2007年度事業報告と2008年度事業報告案を1月末までに作成の上、小田理事まで送付するように依頼があった。また、棚橋理事より、2007年度末に向けて支出の予定がある場合には、棚橋理事までその旨を連絡するよう依頼があった。